

令和5年度 [1]年[技術・家庭(技術)]科 年間学習計画

鈴鹿市立白子中学校

目 標	ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。		
観点別 目 標	知識・技能	思考力 判断力 表現力	主体的に学習に取り組む態度
	生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。

学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期	4 月	ガイダンス 情報の技術	・3年間の学習内容を知る。 コンピュータの構成と基本的な情報処理のしくみを知る。 情報通信ネットワークにおける基本的な情報利用の仕組みを知る。 著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考える。 情報に関する技術の適切な評価・活用について考える。
	5 月	・情報を処理する技術を見つける ・情報を処理する仕組み ・情報通信ネットワーク	
	6 月	・情報セキュリティと情報モラル ・情報の技術と工夫と利用	
	7 月	・実習の手順と安全な進め方 ・プログラムを学ぶ	
二 学 期	9 月	・双方向性のあるコンテンツの技術 ・双方向性のあるコンテンツの制作	メディアの特徴と利用方法を知り、試作品の製作ができる。 多様なメディアを複合し、表現や発信ができる。
	10 月		
	11 月	・計測・制御システムの技術 ・計測・制御システムの製作 ・社会の発展と情報技術	コンピュータを利用した、計測制御の基本的な仕組みを知る 情報処理の手順を考え、簡単なプログラムを作成できる
	12 月		
三 学 期	1 月	生物育成の技術 ・生物を育てる技術を見つける ・生物を育てる技術を知る ・実習や見学の安全な進め方 ・生物を育てる技術の工夫 ・生物育成の計画 ・栽培	生物育成に適する条件と生物育成環境を管理する方法を知る。 生物育成に関する技術と適切な評価・活用について考える
	2 月		目的とする生物の育成計画を立て、生物の栽培又は飼育ができる。
	3 月		

評価 の 方法	知識・技能	・定期テスト ・学習や実習の様子 ・授業プリント
	思考・判断・表現	・作品 ・レポート ・定期テスト ・振り返りシート
	主体的に学習に取り組む態度	・学習態度 ・授業プリント ・振り返りシート ・提出物

令和5年度 [2]年[技術・家庭(技術)]科 年間学習計画

鈴鹿市立白子中学校

目標	ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。		
観点別目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。

学期	月	学習内容	学習のねらい
一 学 期	4月	ガイダンス 材料と加工の技術	・3年間の学習内容を知る。 技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割について考える。 材料の特徴と利用方法を知る。 材料に適した加工法を知り、工具や機器を安全に使用できる。 材料と加工に関する技術の適切な評価・活用について考える。 使用目的や使用条件に即した機能と構造について考える。 構想の表示方法を知り、製作図をかくことができる。
	5月	・材料の技術と加工の技術	
	6月	・材料の特性 ・問題を解決する工夫 ・実習の安全な進め方	
	7月	・設計のしかたを知ろう ・図や表を読み取ろう	
二 学 期	9月	・設計に沿った製作をしよう	部品加工、組み立ておよび仕上げができる。 技術の進展と環境との関係について考える。
	10月		
	11月		
三 学 期	12月	・社会の発展と材料と加工の技術	
	1月	生物育成の技術	生物育成に適する条件と生物育成環境を管理する方法を知る。 生物育成に関する技術と適切な評価・活用について考える 目的とする生物の育成計画を立て、生物の栽培又は飼育ができる。 ・
	2月	・生物を育てる技術を見つける ・生物を育てる技術を知る ・実習や見学の安全な進め方	
3月	・生物を育てる技術の工夫 ・生物育成の計画 ・栽培		

評価 の 方法	知識・技能	・定期テスト ・学習や実習の様子 ・授業プリント ・製作図
	思考・判断・表現	・製作図 ・作品 ・レポート ・定期テスト
	主体的に学習に取り組む態度	・学習態度 ・授業プリント ・振り返りシート ・提出物

令和5年度 [3]年[技術・家庭(技術)]科 年間学習計画

鈴鹿市立白子中学校

目標	ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。		
観点別目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。

学期	月	学習内容	学習のねらい
一学期	4月	ガイダンス 生物育成の技術 ・生物を育てる技術を見つける ・生物を育てる技術を知る ・実習や見学の安全な進め方	・一年間の学習内容を知る。 生物育成に適する条件と生物育成環境を管理する方法を知る。 生物育成に関する技術と適切な評価・活用について考える 目的とする生物の育成計画を立て、生物の栽培又は飼育ができる。
	5月	・生物を育てる技術の工夫	
	6月	・生物育成の計画	
	7月	・栽培	
二学期	9月	・生物育成の技術の評価・活用	・生物育成の技術の適切な評価・活用について考える。 ・エネルギーの変換方法や力の伝達の仕組みを知る。 ・機器の基本的な仕組みを知り、保守点検と事故防止ができる ・製作品の組み立て・調整や電気回路の配線・点検ができる。
	10月	エネルギー変換に関する技術	
	11月	・エネルギーの変換と利用 ・製作品の設計・製作	
	12月		
三学期	1月	・エネルギー変換に関する技術の評価・活用	・エネルギー変換に関する技術の適切な評価・活用について考える。
	2月		
	3月		

評価の方法	知識・技能	・定期テスト	・学習や実習の様子	・授業プリント	
	思考・判断・表現	・作品	・レポート	・定期テスト	・振り返りシート
	主体的に学習に取り組む態度	・学習態度	・授業プリント	・振り返りシート	・提出物

学習のしかた

《 授業中 》

- ・学習プリントやワークシートをまとめ、決められた時期に提出しよう。
- ・友だちや先生の話をしっかりと聴こう。
- ・分からないときは、「分からない」「どうするの」と周りの友達に訊こう。
- ・説明や指示をよく聴き、正確で丁寧な作業を心がけ、時間とルールを守ろう。
- ・安全に留意し、道具や工具・機械を適切に使用しよう。
- ・お互いに教え合う・製作を手伝うなど、周りの人と協同する中で学習しよう。
- ・自ら積極的に質問し、授業内容と実生活と結びつけよう。

《 家庭学習 》

- ・ 自ら進んで学習しよう。
- ・ 授業で学習したことを実際の生活で使える場面を見つけ、積極的に活用しよう。

例

家具店やホームセンターで木製品を見る。

ホームセンターなどで作物の苗を見る。

木材の生育環境や木材の生育について調べる。

家庭にある木製品がどのように使われているか調べる。

家庭、公共施設、販売店での栽培や販売の状況を調べる。

実際に作ってみる。(犬小屋など)

(電気:家庭での電気機器の使用の状況を調べてみよう)

(環境:家庭での材料やゴミなどの廃棄物、エコ製品、ハイブリッド自動車等について関心を持とう)

(情報:実際のインターネットや情報機器の活用、情報モラルについて考えてみよう。

マイコンが組み込まれた機器に関心を持ち、Web アプリで制御を試みよう)

(生物育成:ホームセンターなどで作物の種や苗を実際に見てみよう、動物や水産生物を飼育してみよう)

(実際にやってみよう、つくってみよう)

木製品、電気製品等の修理や補修に挑戦しよう。

新しい電気製品について関心を持とう。

作物栽培に挑戦しよう。

著作権などの音楽や小説などの身近な個人の権利について考えよう。

身近に使用するメールなどのルールやマナーについて考えよう。

パソコンや身の回りにある情報端末を積極的に活用しよう。

スマートフォン等、最新機器の利用や仕組みについて考えよう。

《 テスト勉強 》

ワークシート(授業プリント)をしっかり見直す。

実習や製作でやったことを整理する。

授業の内容をノートにまとめる。

言葉の正確な意味や記号の意味を覚える。

安全面について十分な知識を持つ。

パソコンの操作手順や情報処理の手順について整理する。

工具の使い方や、製作の手順を整理する。